

愛鳥週間！夏鳥を eBird に投稿しよう

～スマホで参加する、市民科学プロジェクト～

(公財)日本野鳥の会(事務局:東京、会長:上田恵介、会員・サポーター数:約5万人)は、愛鳥週間<5月10(金)～16日(木)>に、より多くの方に野鳥観察を楽しみ、世界規模の市民科学プロジェクト「eBird」に観察情報を寄せていただけるよう、キャンペーン「愛鳥週間！夏鳥を eBird に投稿しよう」を実施します。観察対象種を見た方、期間中毎日投稿した方には、記念品をプレゼントします(該当者多数の場合は抽選)。



Macaulay Library/©Atsushi Shimazaki

■eBird について

eBird (イーバード) は、米国・コーネル大学鳥類学研究室 (Cornell Lab of Ornithology) が運営する、世界最大の野鳥観察データベースであり、市民科学(市民と科学者が協働する科学研究)プロジェクトです。eBirdには世界中のバードウォッチャーから10億件を超える野鳥観察情報が寄せられ、蓄積されたデータは鳥類の調査研究や保全活動に活用されています。日本野鳥の会はコーネル大学鳥類学研究室と協働で、その日本語のポータルサイト「eBird Japan」を運営しています。

eBirdでは、自分のバードウォッチングの記録をスマートフォンやPCから投稿して、アーカイブできます。また、さまざまな検索機能で、どこに行けば見たい鳥が見られるか、人気のバードウォッチングスポットはどこか等を調べることができます。eBirdを利用すれば、スマートフォンひとつが、フィールドノートにも、図鑑にも、探鳥地ガイドにもなります。

■5月10日～16日は愛鳥週間(バードウィーク)。見た鳥を eBird に投稿しよう！

5月10日～16日は愛鳥週間。ぜひ、バードウォッチングに出かけて、見た鳥を eBird に投稿してみましょう。特別な場所に行かなくても、家の庭や近くの公園、通勤・通学路などで見られる鳥の情報も、貴重なデータになります。今年の観察対象種は、夏鳥3種(ツバメ、キビタキ、オオヨシキリ)。この3種を全て見た方、7日間毎日投稿した方には、素敵なプレゼントも！ また、キャンペーンにあわせて、イベントや、オンライン講座も実施します。

【キャンペーン「愛鳥週間！夏鳥を eBird に投稿しよう」の概要】

- 期間: 2024年5月10日(金)～16日(木)
- 参加方法: 期間中いつでも、好きな時間にバードウォッチングをして、見た鳥をアプリ「eBird モバイル」または「eBird Japan <https://ebird.org/japan/home>」に投稿してください。

※初めて使う方は「これを読めばわかる！eBird&Merlinの使い方」をご覧ください。

「これを読めばわかる！eBird&Merlinの使い方」:

https://www.wbsj.org/nature/ebird/eBird_setting_guide.pdf

●参加賞：参加された方に、以下の二つの賞をご用意しています。

①サントリー特別賞 期間中にチェックリストを投稿された方のうち、観察対象種（夏鳥3種：ツバメ、キビタキ、オオヨシキリ）すべてを見た方10人（該当者多数の場合は抽選）に、サントリーホールディングス株式会社提供の「育林材のオリジナル時計（ツバメのデザイン）」をさしあげます。

●育林材について <https://www.suntory.co.jp/eco/forest/ikurinza/>



サントリーホールディングス（株）提供
「育林材の時計（ツバメ）」 直径約16cm
イラスト：藪内正幸

<観察対象種 - 夏鳥3種>



②日本野鳥の会賞

5月10～16日の7日間毎日チェックリストを投稿した方10人（該当者多数の場合は抽選）に、日本野鳥の会オリジナル「アウトドアハット」をさしあげます。



【セミナー/イベントのご案内】

① オンラインセミナー AIと野鳥識別対決-Merlinに挑戦！春夏編

●日時：2024年4月24日（水） 19：00-20：00

●内容：「Merlin」は、世界最大の野鳥観察データベースeBirdと連動して、野鳥の識別をサポートするアプリです。このセミナーでは、Merlin（AI）とバードウォッチャー（日本野鳥の会：奴賀俊光）の識別クイズ対決を通じて、野鳥を識別するポイントと、アプリ「Merlin 野鳥識別」をうまく活用するコツをご紹介します。識別クイズには、視聴者の皆さまもご参加いただけます。

●方法：Zoom ウェビナー（定員300名）

●講師：奴賀俊光（公益財団法人 日本野鳥の会）

●参加費：無料

●詳細・お申込みはこちら <https://www.wbsj.org/activity/event/seminar-merlin-20240424/>

② イベント「東京港野鳥公園ビッグ・デー」

- 日時：2024年5月11日（土） 10：00－16：00（受付15：00まで）
- 会場：東京港野鳥公園 受付：ネイチャーセンター
- 内容：園内で自由にバードウォッチングし、見た鳥をアプリ「eBirdモバイル」で投稿していただきます。ゴール（ネイチャーセンター内）で、参加者全員に記念品をプレゼント！ 観察種数上位者にはさらに素敵なプレゼントがあります。5月11日は、eBirdによる世界一斉野鳥カウント「グローバル・ビッグ・デー」でもあり、本イベントに参加いただくことで、グローバル・ビッグ・デーにも参加できます。
- 定員：なし
- 参加費：無料（ただし、東京港野鳥公園への入園料がかかります）
- 詳細・参加方法はこちら

<https://www.wbsj.org/activity/event/bird-bigday-20240511/>

■5月11日（土）は「グローバル・ビッグ・デー（世界一斉野鳥カウント）」

5月11日はコーネル大学鳥類学研究室が主催する世界一斉野鳥カウント「グローバル・ビッグ・デー（Global Big Day）」です。この日に投稿された観察記録は、リアルタイムでグローバル・ビッグ・デーのサイトから見るすることができます。

*Global Big Day <https://ebird.org/globalbigday>

■eBird とは

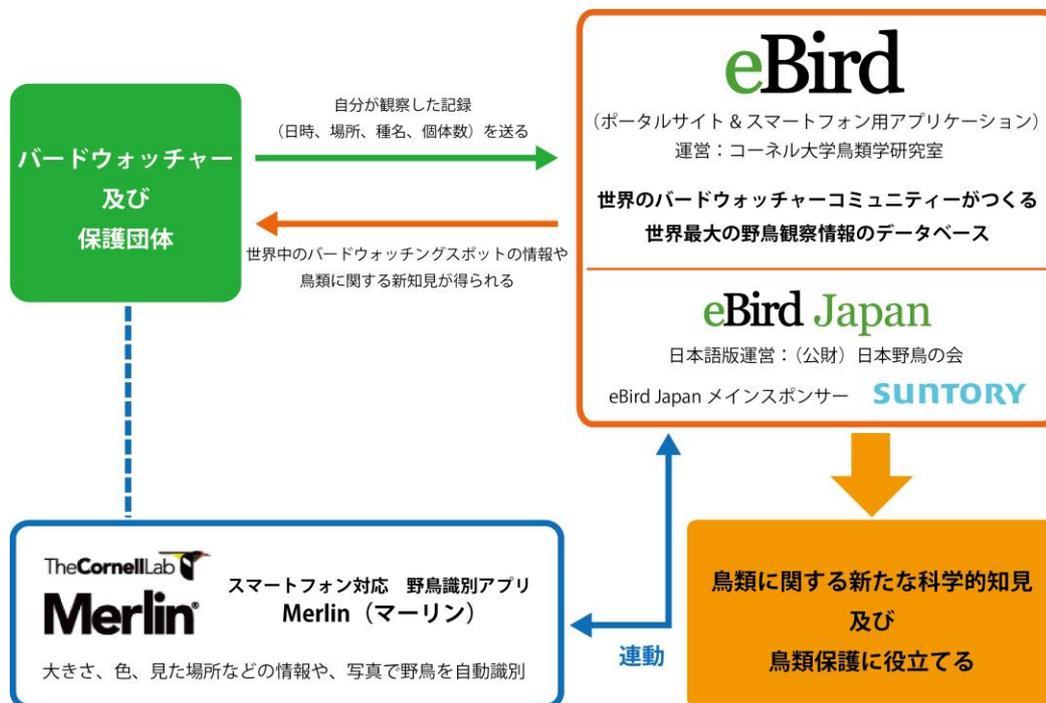
●世界規模の市民科学プロジェクト

eBirdは、米国・コーネル大学鳥類学研究室が運営する、世界的な科学研究プロジェクトであり、誰でも参加できる市民科学プロジェクトです。世界中のバードウォッチャーの野鳥観察記録をオンラインで共有し、鳥類の研究や保護に役立てることを目的に、2002年に開発されました。2024年4月1日現在、eBirdの利用者は約98万人に達し、日々増え続けています。

●ポータルサイト eBird Japan 公開により、日本語で利用可能に

eBirdは、コーネル大学鳥類学研究室と、世界中のパートナー団体、何千人もの地域の専門家、何十万ものユーザーの協働で運営されています。2021年11月にコーネル大学鳥類学研究室と（公財）日本野鳥の会によりポータルサイト「eBird Japan」が公開され、eBirdへの投稿や検索、関連するアプリが日本語で利用できるようになりました。「eBird Japan」は、現在、サントリーホールディングス株式会社（メインスポンサー）と、カールツァイス株式会社（協賛）のご支援を得て、（公財）日本野鳥の会が運営しています。

eBirdは多言語に対応しており、世界中で利用できます。また、eBirdに蓄積されたデータは、調査研究や教育活動、自然保護活動など非営利目的であれば、誰でも自由に利用できます。



■日本野鳥の会 組織概要

組織名：公益財団法人 日本野鳥の会（会員・サポーター 約5万人）

代表者：理事長 遠藤孝一

所在地：〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

URL：https://www.wbsj.org/

■本件に関するお問い合わせ先

（公財）日本野鳥の会

〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

担当：自然保護室 葉山政治／岡本裕子

電話：03-5436-2633 E-mail：ebirdjapan@wbsj.org